

OPEN:ミスターシャチ00 チームの方へのコメントをお願いします！

一枚目



使い方

コメントはこのような付箋で張ってください。否定的なコメントだけでなく肯定的なコメントをお願いいたします。

シートが付箋で沢山になりましたら上の下記を押してページを作成してください



テストできないというのは、誰が何故できないのでしょうか？

質問ありがとうございます。テストできないというのは、専門知識が必要だったり、クラウドを提供する側の責任、例えばSLAなど、テストする側が手を出せないことをいってま

ありがとうございました。非機能要件検討スライド(7P)の分類分けで「機能・セキュリティ」と品質特性が一般的(例えばISO/IEC 25000シリーズ)に分けられるものを一緒にした理由を伺えとうれしいです。

いろいろな手法を適用した様子が伝わりました！スライドだと成果物が抜粋だったので、どれか一つ詳細に説明していただきたいです。(例えばDMMは全体ではどんな成果物でしょうか)

セキュリティ、可用性、性能・拡張性、運用・保守性、移行性・システム環境・エコロジー、障害抑制性、効果性、技術要件の8つを書きます。つぎに、例えば、可用性なら可用性の副特性、すなわち、継続性、耐障害性、災害対策、回復性を書きます。そして、継続性の具体的な内容を書いてい

キーとなる技術が豊富だったのが、図を交えたプレゼンが見てみたかったです。特性要因図は、古き良き技術。つかってみたいになりました。非機能要求の事例もたくさんあってよかったです。

現代だと特性要因図がマインドマップに置き換わったりしたんですかね。

ご質問ありがとうございます。確かに非機能要求をテストケース化すると膨大になります。しかし、非機能要求をすべてする必要があるかという、そうではないので、取捨選択する必要があります。

能要件グレードやISOの品質特性をそのまま適用してDMMを作成していくと、最終的なテストケースが膨大になるのではないかと思えました。非機能要件や品質特性に優先順位をつける。あるいは作成したDMMの項目にたいして優先順位をつけるといったことはされたの

優先順位付け、というか、テスト観点の刈り取りのためにDMMを用いた。というのはいいなあと思いました。